

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ニーズの具体化について、今回も指摘されたこと。	ご利用者の思いや希望、やりたいことを、ご本人の言葉のままケアプランに上げて実現させること。	毎月のモニタリングを担当者だけでなく、チームで行うこと。また、毎日の記録にはご利用者の言葉や言動時の表情など細かく記していく。他、前回同様でサービス内容を細かく具体的にすることに取り組む。	6ヶ月
2	2	コロナウイルス流行以降、地域交流が少ないままになってること	保育園や、学校の慰問のほか、学生の実習受け入れ数を増やす。 ご利用者との外出の機会を増やし、スーパーや飲食店などでの交流の機会を増やす。 地域での催事には積極的に参加する。	金沢福祉専門学校や金城大学から実習生の受け入れ要請があるため、実習受け入れのための説明会等に参加し受け入れ体制が整っていることを伝える。 ご利用者と近隣に買い物に行く機会をさらに増やしていく。 地域の催事等、情報収集に努める。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。